

# グローバル・ナビ

＜愛称：世界の潮流＞

追加型投信／内外／資産複合

## 受益者の皆さまへ

毎々格別のお引立てに預かり厚くお礼申し上げます。

当ファンドは、主としてマザーファンド受益証券および上場投資信託への投資を通じて実質的に国内外の株式、債券、REITに分散投資を行います。

当作成対象期間につきましても、これに沿った運用を行いました。ここに、運用経過等をご報告申し上げます。

今後とも一層のご愛顧を賜りますようお願い申し上げます。

作成対象期間 2019年12月17日～2020年12月15日

第7期	決算日：2020年12月15日	
第7期末 (2020年12月15日)	基準価額	12,539円
	純資産総額	202百万円
第7期	騰落率	1.9%
	分配金合計	0円

(注1) 騰落率は分配金再投資基準価額の騰落率を表示しています。

(注2) △ (白三角) はマイナスを意味しています (以下同じ)。

当ファンドは投資信託約款において、運用報告書(全体版)を電磁的方法によりご提供する旨を定めております。運用報告書(全体版)は、下記のホームページにアクセスし、「基準価額一覧」等から当ファンドの名称を選択いただき、ファンドの詳細ページから閲覧、ダウンロードすることができます。また、運用報告書(全体版)は受益者のご請求により交付されます。交付をご請求される方は、販売会社までお問い合わせください。

## ■運用報告書に関するお問い合わせ先

コールセンター **0120-104-694**

(受付時間：営業日の午前9時から午後5時まで)

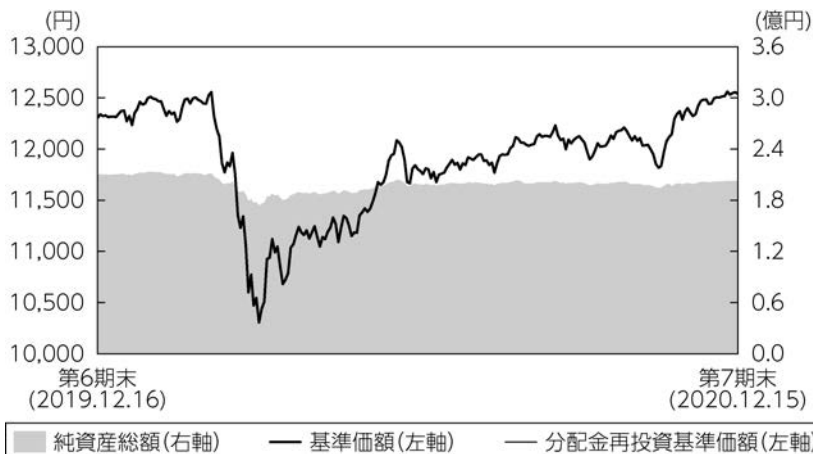
お客さまのお取引内容につきましては、購入された販売会社にお問い合わせください。

**アセットマネジメントOne 株式会社**

東京都千代田区丸の内1-8-2 <http://www.am-one.co.jp/>

## 運用経過の説明

### 基準価額等の推移



第7期首：12,304円  
 第7期末：12,539円  
 (既払分配金0円)  
 騰落率：1.9%  
 (分配金再投資ベース)

- (注1) 分配金再投資基準価額は、税引前の分配金を再投資したものとみなして計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものではありません。
- (注2) 分配金を再投資するかどうかについてはお客さまがご利用のコースにより異なります。また、ファンドの購入価額により課税条件も異なります。従って、お客さまの損益の状況を示すものではありません。
- (注3) 分配金再投資基準価額は、期首の基準価額に合わせて指数化しています。
- (注4) 当ファンドはベンチマークを定めておりません。

### 基準価額の主な変動要因

各国政府・中央銀行による政策対応や新型コロナウイルスワクチン開発への期待などを背景に国内外の株式市場が概ね堅調に推移し、基準価額上昇のけん引役となりました。米国の大規模金融緩和などを背景に先進国債券市場も底堅く推移し、基準価額にプラスに寄与しました。

## 1万口当たりの費用明細

項目	第7期		項目の概要
	(2019年12月17日 ～2020年12月15日)		
	金額	比率	
(a) 信託報酬	185円	1.558%	(a)信託報酬＝期中の平均基準価額×信託報酬率 期中の平均基準価額は11,901円です。
(投信会社)	(87)	(0.735)	投信会社分は、信託財産の運用、運用報告書等各種書類の作成、基準価額の算出等の対価
(販売会社)	(91)	(0.768)	販売会社分は、購入後の情報提供、交付運用報告書等各種書類の送付、口座内でのファンドの管理等の対価
(受託会社)	( 7)	(0.055)	受託会社分は、運用財産の保管・管理、投信会社からの運用指図の実行等の対価
(b) 売買委託手数料	1	0.006	(b)売買委託手数料＝期中の売買委託手数料÷期中の平均受益権口数 売買委託手数料は、組入有価証券等の売買の際に発生する手数料
(株式)	( 0)	(0.002)	
(新株予約権証券)	( 0)	(0.000)	
(先物・オプション)	( 0)	(0.001)	
(投資信託受益証券)	( 0)	(0.003)	
(投資証券)	( 0)	(0.001)	
(c) 有価証券取引税	0	0.001	(c)有価証券取引税＝期中の有価証券取引税÷期中の平均受益権口数 有価証券取引税は、有価証券の取引の都度発生する取引に関する税金
(株式)	( 0)	(0.001)	
(新株予約権証券)	( 0)	(0.000)	
(投資信託受益証券)	( 0)	(0.000)	
(投資証券)	( 0)	(0.000)	
(d) その他費用	48	0.405	(d)その他費用＝期中のその他費用÷期中の平均受益権口数
(保管費用)	(47)	(0.396)	保管費用は、外国での資産の保管等に要する費用
(監査費用)	( 0)	(0.004)	監査費用は、監査法人等に支払うファンドの監査にかかる費用
(その他)	( 1)	(0.004)	その他は、信託事務の処理に要する諸費用等
合計	234	1.969	

(注1) 期中の費用（消費税等のかかるものは消費税等を含む）は追加・解約によって受益権口数に変動があるため、簡便法により算出した結果です。  
なお、売買委託手数料、有価証券取引税およびその他費用は、このファンドが組入れているマザーファンドが支払った金額のうち、このファンドに対応するものを含みます。

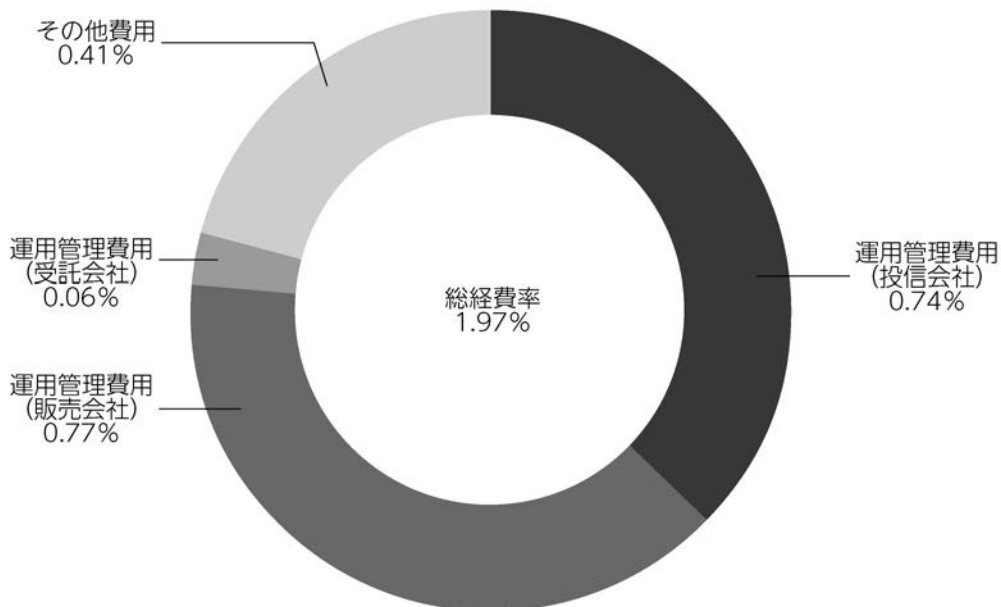
(注2) 金額欄は項目ごとに円未満は四捨五入してあります。

(注3) 比率欄は「1万口当たりのそれぞれの費用金額」を期中の平均基準価額で除して100を乗じたものです。

(参考情報)

◆総経費率

当期中の運用・管理にかかった費用の総額を期中の平均受益権口数に期中の平均基準価額（1口当たり）を乗じた数で除した総経費率（年率）は1.97%です。



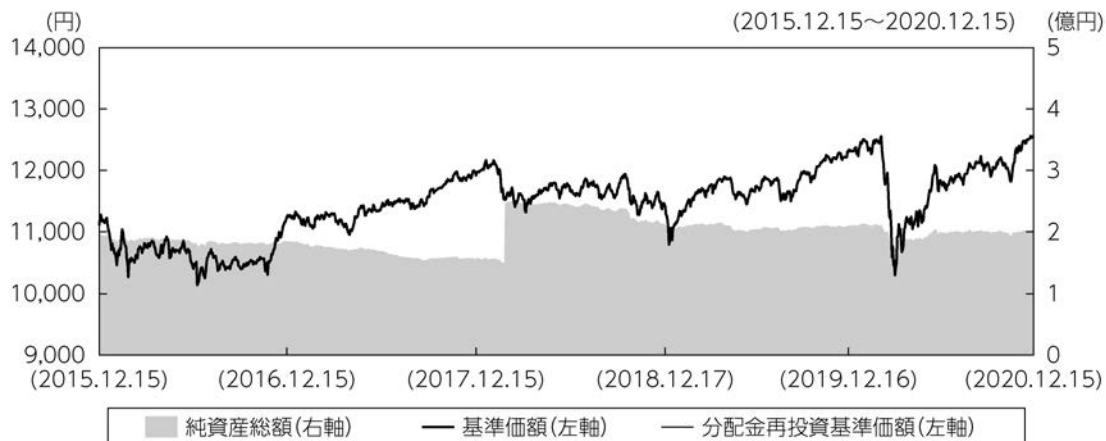
(注1) 1万口当たりの費用明細において用いた簡便法により算出したものです。

(注2) 各費用は、原則として、募集手数料、売買委託手数料および有価証券取引税を含みません。

(注3) 各比率は、年率換算した値です。

(注4) 上記の前提条件で算出したものです。このため、これらの値はあくまでも参考であり、実際に発生した費用の比率と異なります。

## 最近5年間の基準価額等の推移



- (注1) 分配金再投資基準価額は、税引前の分配金を再投資したものとみなして計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものではありません。
- (注2) 分配金を再投資するかどうかについてはお客さまがご利用のコースにより異なります。また、ファンドの購入価額により課税条件も異なります。従って、お客さまの損益の状況を示すものではありません。
- (注3) 分配金再投資基準価額は、2015年12月15日の基準価額に合わせて指数化しています。

		2015年12月15日 期首	2016年12月15日 決算日	2017年12月15日 決算日	2018年12月17日 決算日	2019年12月16日 決算日	2020年12月15日 決算日
基準価額 (分配落)	(円)	11,107	11,246	11,917	11,409	12,304	12,539
期間分配金合計 (税引前)	(円)	—	0	0	0	0	0
分配金再投資基準価額の騰落率	(%)	—	1.3	6.0	△4.3	7.8	1.9
純資産総額	(百万円)	192	185	156	211	209	202

(注) 当ファンドのコンセプトに適した指数が存在しないため、ベンチマークおよび参考指数を定めておりません。

## 投資環境

国内株式市場は上昇しました。期初から2020年1月前半にかけては、ほぼ横ばいで推移しました。2月から3月半ばにかけては新型コロナウイルスの感染拡大により景気への影響が深刻になるとの見方が広がり、急落しました。その後、4月から6月半ばまでは、感染拡大に鈍化の兆しがみられたことや世界各国での経済対策などを要因として値を戻す展開となりました。期末にかけても、ワクチン開発期待や米国大統領選挙の結果などを受けて上昇しました。

先進国株式市場は上昇しました。米国株式市場は期初より堅調に推移するも、2020年2月下旬以降は世界的な新型コロナウイルスの感染拡大を嫌気して急落しました。米国景気対策法案への期待から反発した3月下旬以降は、欧米での感染拡大から時折調整する場面が見られるも、経済活動正常化への期待感などから概ね堅調な値動きとなりました。欧州株式市場もほぼ同様の動きとなりましたが、反発力に欠ける市場もあり、期首比では各国まちまちの値動きとなりました。

新興国株式市場は上昇しました。2020年2月下旬から3月下旬にかけては、新型コロナウイルスの急速な感染拡大に伴う世界的な景気後退懸念から大きく値下がりしました。その後はF R B（米連邦準備制度理事会）の大規模な資金供給策により米ドル需給の逼迫懸念が後退したことに加え、中国経済の回復や原油価格の戻り基調、新型コロナウイルスのワクチン開発への期待感などを背景に、期末にかけて概ね堅調な値動きとなりました。

国内R E I T市場は下落しました。期初は国内長期金利がマイナス圏で推移する環境下において、賃貸収益の安定性などが注目されて堅調に推移しました。しかし2020年2月下旬から3月中旬にかけては、新型コロナウイルスの世界的な感染拡大によって経済の長期的な停滞が意識され、大幅な調整となりました。その後は国内における新型コロナウイルスの感染ペース鈍化やワクチン開発への期待などから過度な悲観論が後退し、緩やかに値を戻す展開となりました。

米国R E I T市場は下落しました。期初は米中通商協議の進展期待などから上昇傾向で推移していましたが、2020年2月下旬以降は新型コロナウイルスの感染拡大懸念により大幅に下落しました。米国景気対策法案への期待から反発した3月下旬以降は、感染拡大への懸念から時折調整する場面が見られるも、新型コロナウイルスのワクチン開発の進展報道などを背景に期末にかけて下げ幅を縮小する展開となりました。

国内債券市場では利回りは上昇（価格は下落）しました。2020年1月から2月にかけては、新型コロナウイルスの感染拡大に伴う世界的な景気悪化懸念などから利回りは低下（価格は上昇）しました。3月には、日本の大型経済対策に伴う国債増発懸念などを受けて利回りは上昇しました。その後期末にかけては、新型コロナウイルスの感染再拡大や世界景気の回復期待などが交錯し、方向感なく推移しました。

新型コロナウイルスの感染拡大による景気悪化や金融緩和政策の強化などが、投資国の国債利回りの低下要因（価格の上昇要因）となりました。一方、新型コロナウイルス対策の財政支出拡大により国債発行額が増加していることなどが、国債利回りの上昇要因（価格の低下要因）となりました。期を通じると米国やドイツなど投資対象国すべての国債利回りが低下しました。

新興国の債券市場においては、新型コロナウイルス感染拡大による景気後退に対処するため各国の中央銀行が段階的に政策金利を引き下げたことなどから、トルコを除く投資国の国債利回りは短中期ゾーンを中心に概ね低下（価格は上昇）する展開となりました。一方で、通貨防衛やインフレ抑制などの観点から政策金利を引き上げたトルコでは国債利回りは上昇（価格は下落）しました。

米ドル／円相場については、新型コロナウイルスの感染拡大を受けて世界的な景気後退となるなか、F R Bによる大規模金融緩和の長期化、および米国の財政支出拡大観測などから、期首比で円高米ドル安の水準で期末を迎えました。一方、ユーロ／円相場については、E U（欧州連合）による復興基金の設立合意などを好材料に2020年夏場にかけて円安ユーロ高が進行した結果、期首比で円安ユーロ高の水準で期末を迎えました。

## ■ ポートフォリオについて

### ● 当ファンド

当期の基本比率は期を通じて、国内株式20%、先進国株式15%、新興国株式5%、国内REIT5%、米国REIT5%、国内債券15%、先進国債券15%、先進国債券（ヘッジあり）10%、新興国債券5%、現金預金等5%とし、概ねこの割合となるよう、各投資信託証券の組み入れを行いました。

### ● ニュー トピックス インデックス マザーファンド

TOPIX（東証株価指数）に連動する投資成果を目指し、わが国の株式市場の動きと信託財産の長期的成長を捉えることを目標としています。運用にあたっては、東証一部上場銘柄の業種別、銘柄別の時価構成比等を勘案し、ポートフォリオを構築します。また、現物株式と株価指数先物取引を合計した実質の株式組入比率は、期を通じて高位に保ち、期中に行われた新規上場などに対しては、銘柄別の時価構成比を勘案し、適宜ポートフォリオの見直しを行いました。

### ● 新光外国株式インデックスマザーファンド

運用にあたっては、MSCIコクサイ・インデックス（円ベース）の採用銘柄を主要投資対象として、ほぼ同指数と同様のポートフォリオを構築しています。高位の組入比率を維持するために外国株価指数先物取引を併用し、現物外国株式（含む外国投資信託証券。）と外国株価指数先物取引を合計した実質の外国株式組入比率は期を通じて高位を保ちました。

### ● 新光J-REITマザーファンド

不動産投資信託証券への投資にあたっては、「東証REIT指数（配当込み）」の採用銘柄（採用予定を含みます。）を対象とし、「東証REIT指数」における時価構成割合を基本とする個別銘柄への投資配分ならびに元本の変動に応じた売買を行いました。また、不動産投資証券の組入比率は原則として高位を保ちました。

### ● 新光米国REITマザーファンド

期を通じてREITの組入比率を高位に保ち、期中に行われたベンチマーク構成銘柄の変化などについては銘柄別の時価構成比を勘案し、適宜ポートフォリオの見直しを行いました。

### ● 新光日本債券インデックスマザーファンド

期中の債券の組入比率を高位に保ち、ポートフォリオのデュレーションや残存期間別の構成比、債券種別の構成比をベンチマークに近似させました。また、月次でのベンチマークの銘柄入れ替えに合わせテリバランスを行いました。



●海外国債マザーファンド

期中を通じて日本を除く先進国債券の組入比率を高位に保ちました。アメリカ、イタリア、ドイツ、フランス、イギリス、カナダの6カ国が発行する、残存年数7年から10年の国債を中心に組入れました。相対的に上昇率が高かった米国とイタリアの国債をオーバーウェイトしていたことなどにより、期中の運用成果はベンチマーク（F T S E 世界国債インデックス（除く日本、7～10年、円ベース、為替ヘッジなし））を上回りました。

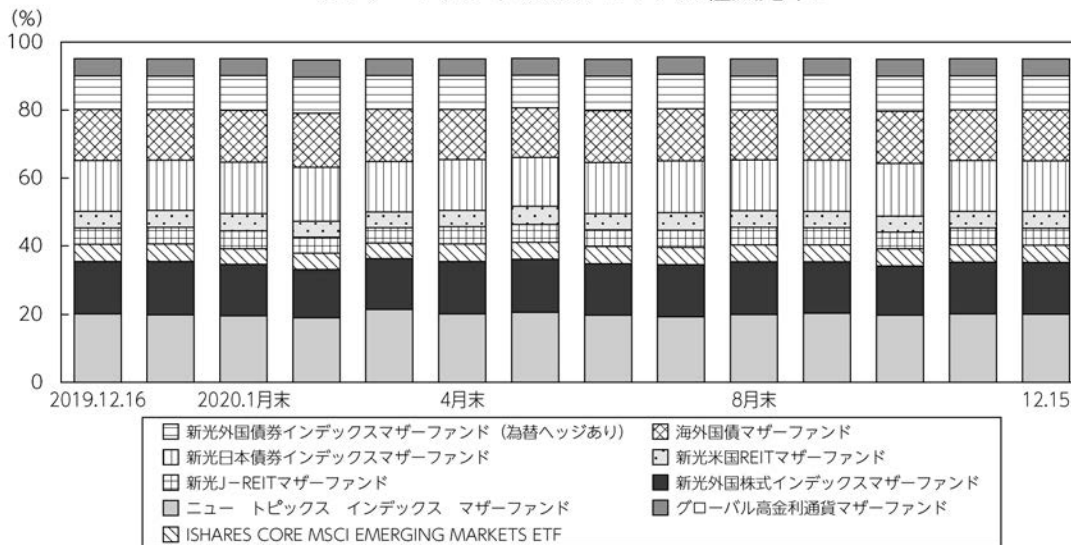
●新光外国債券インデックスマザーファンド（為替ヘッジあり）

期中を通じて外国債券の組入比率を高位に保ち、ポートフォリオの通貨別構成比やデュレーション、残存期間別の構成比をベンチマークに近似させました。資産規模等を勘案して一部組み入れを行っていない通貨があり、期末時点ではベンチマークを構成する13通貨中11通貨の組み入れとしています。また、為替ヘッジ比率については期中を通じて高位に保ちました。

●グローバル高金利通貨マザーファンド

北米・中南米、アジア・オセアニア、中東・アフリカ、欧州の4地域毎に各国の金利水準や金利・為替動向、流動性等を勘案して、組入比率を決定しています。当作成期間については、アジア・オセアニア地域でオーストラリアを投資国から除外し、インド・インドネシアの組入比率を引き上げました。また、その他の投資国に関しても、市場動向に応じて適宜調整を実施しました。

<マザーファンドおよびETFの組入比率>



※比率は純資産総額に対する評価額の割合です。

## 分配金

収益分配金につきましては基準価額水準・市況動向等を勘案し、無分配とさせていただきます。なお、収益分配金に充てなかった利益は信託財産内に留保し、運用の基本方針に基づいて運用いたします。

### ■分配原資の内訳（1万口当たり）

項目	当期
	2019年12月17日 ～2020年12月15日
当期分配金（税引前）	-円
対基準価額比率	-%
当期の収益	-円
当期の収益以外	-円
翌期繰越分配対象額	2,586円

（注1）「当期の収益」および「当期の収益以外」は、小数点以下切捨てで算出しているためこれらを合計した額と「当期分配金（税引前）」の額が一致しない場合があります。

（注2）当期分配金の「対基準価額比率」は「当期分配金（税引前）」の期末基準価額（分配金込み）に対する比率で、ファンドの収益率とは異なります。また、小数点第3位を四捨五入しています。

（注3）「当期の収益」は「経費控除後の配当等収益」および「経費控除後・繰越欠損補填後の売買益（含、評価益）」から分配に充当した金額です。また、「当期の収益以外」は「分配準備積立金」および「収益調整金」から分配に充当した金額です。

## 今後の運用方針

### ●当ファンド

投資信託証券への投資を通じて、国内外の株式、債券およびREITに分散投資を行います。

新型コロナウイルスによる影響、ワクチン開発・接種の状況、世界経済の動向、金融市場の動き、主要国の政治情勢や金融政策、地政学リスク、米中関係などを見極めながら、最適な資産配分について検討する方針です。

### ●ニュー トピックス インデックス マザーファンド

引き続き、TOPIXに連動した投資成果を目指し、運用を行います。運用にあたっては、実質の株式組入比率を高位に保ちます。

### ●新光外国株式インデックスマザーファンド

ベンチマークであるMSCIコクサイ・インデックス（円ベース）への連動を目指し、現物外国株式と外国株価指数先物取引を合わせた組入比率を高位に保ちます。

### ●新光J-REITマザーファンド

ベンチマークである「東証REIT指数（配当込み）」に連動した投資成果を目指し、当該指数の構成銘柄・構成比率を参考として運用を行う方針です。

### ●新光米国REITマザーファンド

REITの組入比率を高位とし、ベンチマークである円換算したFTSE NAREIT ALL EQUITY REITs インデックスの動きを概ね捉える投資成果を目指して運用を行う方針です。

●新光日本債券インデックスマザーファンド

引き続き運用の基本方針に基づき、ベンチマークであるNOMURA-BPI総合の動きに連動する投資成果を目指して運用を行います。公社債の組入比率を高位に維持するとともに、ベンチマークの特性に近似したポートフォリオを構築する方針です。

●海外国債マザーファンド

引き続き運用の基本方針に基づき、日本を除く世界主要先進国の公社債を主要投資対象として、長期的に安定した収益の確保と投資信託財産の成長を目指して運用を行います。投資対象国の経済情勢や金利・為替環境を分析した上、デュレーション水準や通貨配分等を適切に調整し、安定した収益の確保と信託財産の成長を目指す方針です。

●新光外国債券インデックスマザーファンド（為替ヘッジあり）

今後についても、ベンチマークであるFTSE世界国債インデックス（除く日本、ヘッジあり・円ベース）の動きに連動する投資成果を目指して運用を行う方針です。

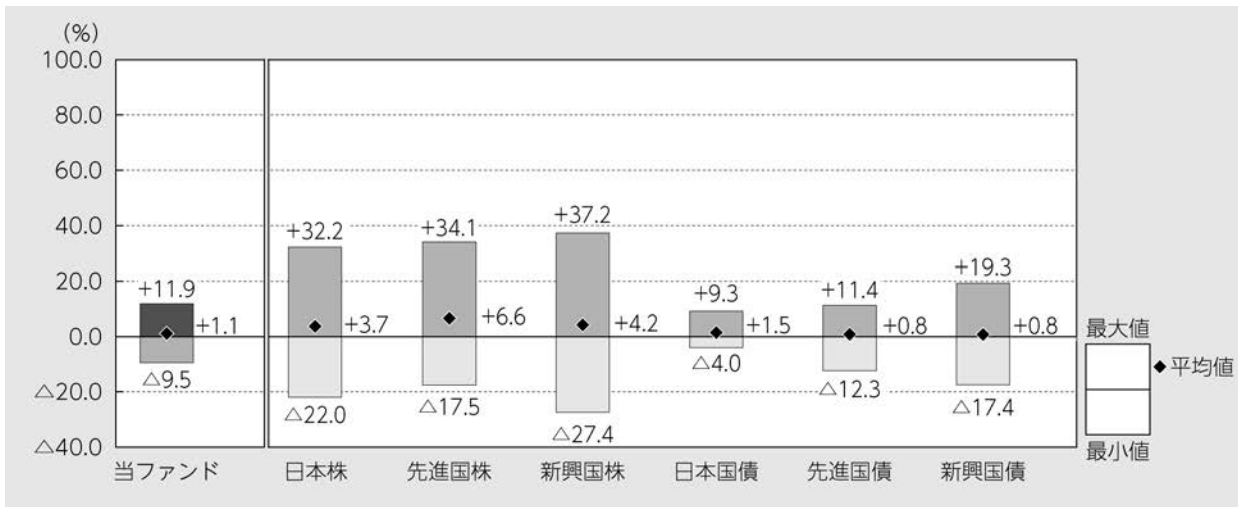
●グローバル高金利通貨マザーファンド

通貨配分については、金利水準等に大きな変化がなければ現状のポートフォリオを維持する方針ですが、市場動向に応じて機動的に対応します。デュレーションについては、市場のリスクセンチメントに応じて値動きの荒い展開が予想されることから、各国のインフレ動向や各通貨のイールドカーブの形状に留意しながら、現状の水準を維持する方針です。

## 当ファンドの概要

商品分類	追加型投信／内外／資産複合	
信託期間	2014年1月6日から2028年12月15日までです。	
運用方針	安定した収益の確保と投資信託財産の長期的な成長を目指して運用を行います。	
主要投資対象	グローバル・ナビ	ニュー トピックス インデックス マザーファンド受益証券、新光外国株式インデックスマザーファンド受益証券、新光日本債券インデックスマザーファンド受益証券、海外国債マザーファンド受益証券、新光外国債券インデックスマザーファンド（為替ヘッジあり）受益証券、グローバル高金利通貨マザーファンド受益証券、新光J-R E I Tマザーファンド受益証券、新光米国R E I Tマザーファンド受益証券、および新興国株式を主要投資対象とする上場投資信託証券（以下「新興国株E T F」といいます）。
	ニュー トピックス インデックス マザーファンド	東京証券取引所第一部に上場されている株式。
	新光外国株式インデックスマザーファンド	日本を除く世界主要先進国の株式。
	新光日本債券インデックスマザーファンド	わが国の公社債。
	海外国債マザーファンド	日本を除く、F T S E世界国債インデックスに含まれる国に所在する政府、政府関係機関、国際機関、法人およびその他事業体が発行する当該インデックスに含まれる通貨建ての国債、政府機関債、国際機関債、短期金融商品。
	新光外国債券インデックスマザーファンド（為替ヘッジあり）	日本を除く世界主要国の公社債。
	グローバル高金利通貨マザーファンド	世界各国の公社債。
	新光J-R E I Tマザーファンド	東証R E I T指数の採用銘柄（採用予定を含みます）。
	新光米国R E I Tマザーファンド	米国の取引所上場および店頭市場登録の不動産投資信託証券。
運用方法	主としてマザーファンド受益証券、および新興国株E T Fに投資することにより、実質的にわが国および海外の株式、債券および不動産投資信託証券に分散投資を行い、安定した収益の確保と投資信託財産の成長を目指して運用を行います。 新興国株E T Fについては、規模、流動性、ベンチマーク指数等を総合的に判断して、銘柄を決定します。 各マザーファンド受益証券、および上場投資信託証券等への投資比率は、世界経済、金融市場の動向等を勘案して機動的に変更します。	
分配方針	分配対象額の範囲は、繰越分を含めた経費控除後の利子・配当等収益と売買益（評価益を含みます）等の全額とします。分配金額は、基準価額水準や市況動向等を勘案して委託者が決定します。ただし、分配対象額が少額の場合などには、分配を行わないことがあります。留保益の運用については、特に制限を設けず、運用の基本方針に基づいた運用を行います。	

## 代表的な資産クラスとの騰落率の比較



2015年12月～2020年11月

(注1) すべての資産クラスが当ファンドの投資対象とは限りません。

(注2) 上記期間の各月末における直近1年間の騰落率の平均値・最大値・最小値を、ファンドおよび代表的な資産クラスについて表示し、ファンドと代表的な資産クラスを定量的に比較できるように作成したものです。なお、上記の騰落率は決算日に対応した数値とは異なります。

(注3) 当ファンドの騰落率は、税引き前の分配金を再投資したものと計算しています。

### \*各資産クラスの指数

日本株…東証株価指数 (TOPIX) (配当込み)

先進国株…MSCIコクサイ・インデックス (配当込み、円ベース)

新興国株…MSCIエマージング・マーケット・インデックス (配当込み、円ベース)

日本国債…NOMURA-BPI国債

先進国債…FTSE世界国債インデックス (除く日本、円ベース)

新興国債…JPモルガンGBI-EMグローバル・ディバースファイド (円ベース)

(注) 海外の指数は為替ヘッジなしによる投資を想定して、円換算しております。

※各指数については後掲の「代表的な資産クラスとの騰落率の比較に用いた指数について」をご参照ください。

## 当ファンドのデータ

### 当ファンドの組入資産の内容（2020年12月15日現在）

#### ◆組入ファンド等

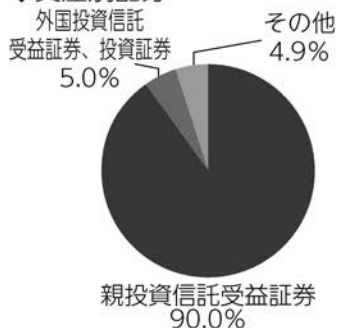
（組入ファンド数：9ファンド）

	当期末
	2020年12月15日
ニュー トピックス インデックス マザーファンド	20.0%
新光外国株式インデックスマザーファンド	15.1
海外国債マザーファンド	15.1
新光日本債券インデックスマザーファンド	14.9
新光外国債券インデックスマザーファンド（為替ヘッジあり）	9.9
グローバル高金利通貨マザーファンド	5.1
ISHARES CORE MSCI EMERGING MARKETS ETF	5.0
新光J-R E I Tマザーファンド	5.0
新光米国R E I Tマザーファンド	4.9
その他	4.9

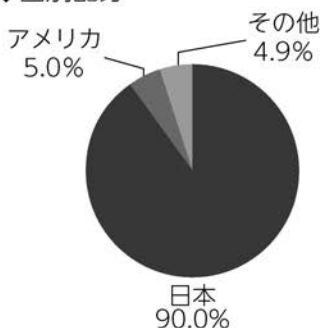
（注1）比率は純資産総額に対する評価額の割合です。

（注2）現金等はその他として表示しています。なお、その他は未払金等の発生によりマイナスになることがあります。

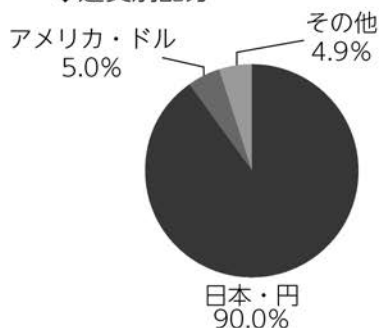
#### ◆資産別配分



#### ◆国別配分



#### ◆通貨別配分



（注1）比率は純資産総額に対する評価額の割合です。

（注2）現金等はその他として表示しています。なお、その他は未払金等の発生によりマイナスになることがあります。

（注3）国別配分につきましては発行国（地域）で表示してあります。

### 純資産等

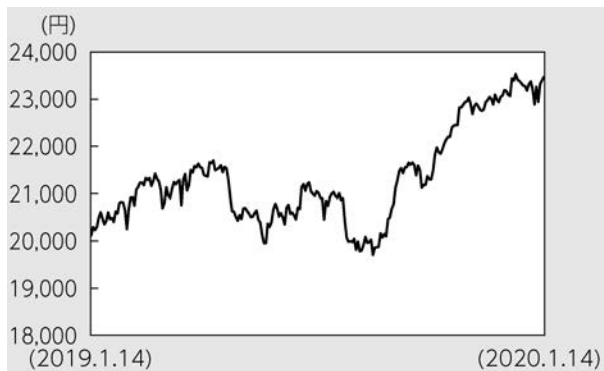
項目	当期末
	2020年12月15日
純資産総額	202,492,789円
受益権総口数	161,493,279口
1万口当たり基準価額	12,539円

（注）当期中における追加設定元本額は595,709円、同解約元本額は9,581,529円です。

## 組入ファンドの概要

[ニュー トピックス インデックス マザーファンド] (計算期間 2019年1月15日～2020年1月14日)

### ◆基準価額の推移



### ◆組入上位10銘柄 (現物)

銘柄名	通貨	比率
トヨタ自動車	日本・円	3.4%
ソニー	日本・円	2.0
三菱UFJフィナンシャル・グループ	日本・円	1.6
ソフトバンクグループ	日本・円	1.6
日本電信電話	日本・円	1.4
武田薬品工業	日本・円	1.4
キーエンス	日本・円	1.4
リクルートホールディングス	日本・円	1.1
三井住友フィナンシャルグループ	日本・円	1.1
任天堂	日本・円	1.0
組入銘柄数	1,591銘柄	

### ◆1万口当たりの費用明細

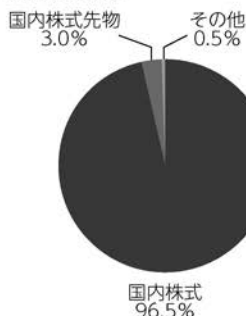
項目	当期	
	金額	比率
(a) 売買委託手数料 (株式)	0円 (0)	0.001% (0.000)
(先物・オプション)	(0)	(0.001)
合計	0	0.001

期中の平均基準価額は21,338円です。

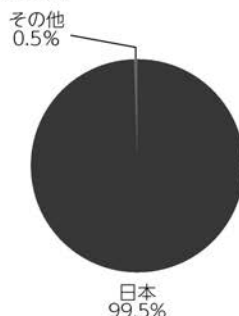
### ◆組入上位銘柄 (先物)

銘柄名	売買	比率
TOPIX	買建	3.0%
組入銘柄数	1銘柄	

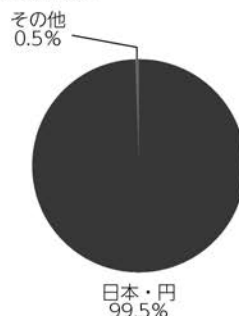
### ◆資産別配分



### ◆国別配分



### ◆通貨別配分



(注1) 基準価額の推移、1万口当たりの費用明細は組入ファンドの直近の計算期間のものであります。

(注2) 「1万口当たりの費用明細」期中の費用(消費税等のかかるものは消費税等を含む)は、追加・解約によって受益権口数に変動があるため、簡便法により算出した結果です。金額欄は項目ごとに円未満は四捨五入してあります。比率欄は「1万口当たりのそれぞれの費用金額」を期中の平均基準価額で除して100を乗じたものです。なお、項目の概要につきましては運用報告書(全体版)をご参照ください。

(注3) 組入上位銘柄、資産別配分・国別配分・通貨別配分のデータは組入ファンドの直近の決算日現在のものです。

(注4) 比率は純資産総額に対する評価額の割合です。

(注5) 国別配分につきましては発行国(地域)で表示しております。

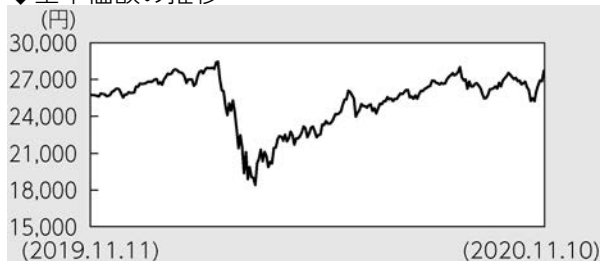
(注6) 国別配分、通貨別配分については、現物と先物の比率を合計して表示しています。

(注7) その他は、純資産総額を100%として、現物と先物の比率を差し引いたものです。

(注8) 計算期間中の運用経過や組入全銘柄に関する詳細な情報等については、運用報告書(全体版)に記載されています。

【新光外国株式インデックスマザーファンド】（計算期間 2019年11月12日～2020年11月10日）

◆基準価額の推移



◆組入上位10銘柄（現物）

銘柄名	通貨	比率
APPLE INC	アメリカ・ドル	4.6%
MICROSOFT CORP	アメリカ・ドル	3.4
AMAZON.COM INC	アメリカ・ドル	2.9
FACEBOOK INC	アメリカ・ドル	1.4
ALPHABET INC-CL C	アメリカ・ドル	1.2
ALPHABET INC-CL A	アメリカ・ドル	1.1
JOHNSON & JOHNSON	アメリカ・ドル	0.8
VISA INC	アメリカ・ドル	0.8
JPMORGAN CHASE & CO	アメリカ・ドル	0.8
NESTLE SA-REGISTERED	スイス・フラン	0.7
組入銘柄数	1,245銘柄	

◆1万口当たりの費用明細

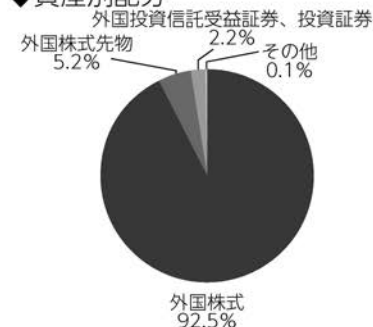
項目	当期	
	金額	比率
(a) 売買委託手数料 (株式) (新株予約権証券) (先物・オプション) (投資信託受益証券) (投資証券)	3円 (2) (0) (2) (0) (0)	0.014% (0.008) (0.000) (0.006) (0.000) (0.000)
(b) 有価証券取引税 (株式) (新株予約権証券) (投資信託受益証券) (投資証券)	2 (1) (0) (0) (0)	0.006 (0.006) (0.000) (0.000) (0.000)
(c) その他費用 (保管費用) (その他)	292 (291) (2)	1.156 (1.150) (0.006)
合計	297	1.176

期中の平均基準価額は25,287円です。

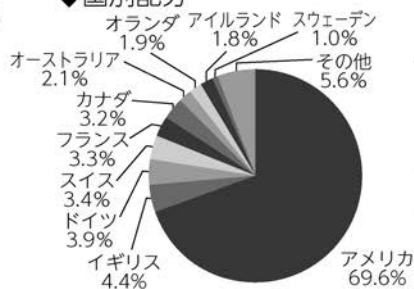
◆組入上位銘柄（先物）

銘柄名	売買	比率
S&P500 EMINI FUTURE Dec20	買建	3.7%
DJ EURO STOXX 50 Dec20	買建	1.1
FTSE 100 INDEX FUTURE Dec20	買建	0.4
組入銘柄数	3銘柄	

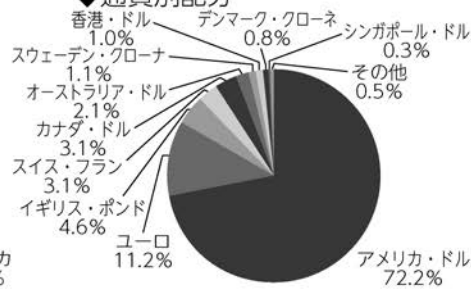
◆資産別配分



◆国別配分



◆通貨別配分

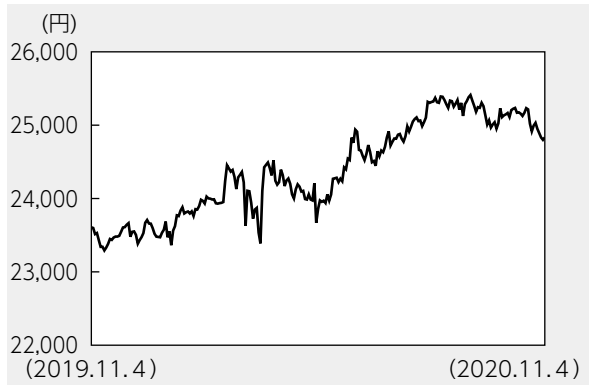


- (注1) 基準価額の推移、1万口当たりの費用明細は組入ファンドの直近の計算期間のものであります。  
 (注2) 「1万口当たりの費用明細」期中の費用（消費税等のかかるものは消費税等を含む）は、追加・解約によって受益権口数に変動があるため、簡便法により算出した結果です。金額欄は項目ごとに円未満は四捨五入してあります。比率欄は「1万口当たりのそれぞれの費用金額」を期中の平均基準価額で除して100を乗じたものです。なお、項目の概要につきましては運用報告書（全体版）をご参照ください。  
 (注3) 組入上位銘柄、資産別配分・国別配分・通貨別配分のデータは組入ファンドの直近の決算日現在のものです。  
 (注4) 比率は純資産総額に対する評価額の割合です。  
 (注5) 国別配分につきましては発行国（地域）で表示しております。  
 (注6) 国別配分、通貨別配分については、上位11位以下をその他に含めて集計しています。  
 (注7) 国別配分、通貨別配分については、現物と先物の比率を合計して表示しています。  
 (注8) その他は、純資産総額を100%として、現物と先物の比率を差し引いたものです。  
 (注9) 計算期間中の運用経過や組入全銘柄に関する詳細な情報等については、運用報告書（全体版）に記載されています。



## 【海外国債マザーファンド】（計算期間 2019年11月5日～2020年11月4日）

### ◆基準価額の推移



### ◆組入上位10銘柄

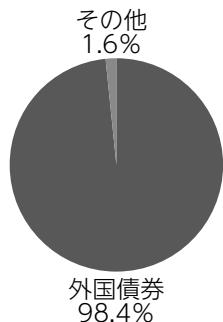
銘柄名	通貨	比率
US T N/B 3.125 11/15/28	アメリカ・ドル	3.7%
US T N/B 2.875 08/15/28	アメリカ・ドル	3.6
US T N/B 2.875 05/15/28	アメリカ・ドル	3.6
FRANCE OAT 2.75 10/25/27	ユーロ	3.6
US T N/B 2.625 02/15/29	アメリカ・ドル	3.5
US T N/B 2.75 02/15/28	アメリカ・ドル	3.5
US T N/B 2.375 05/15/29	アメリカ・ドル	3.5
US T N/B 1.75 11/15/29	アメリカ・ドル	3.3
US T N/B 1.625 08/15/29	アメリカ・ドル	3.3
FRANCE OAT 5.5 04/25/29	ユーロ	3.3
組入銘柄数	46銘柄	

### ◆1万口当たりの費用明細

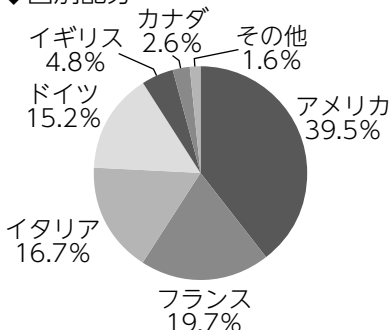
項目	当期	
	金額	比率
(a) その他費用 (保管費用) (その他)	6円 (6) (0)	0.023% (0.023) (0.000)
合計	6	0.023

期中の平均基準価額は24,387円です。

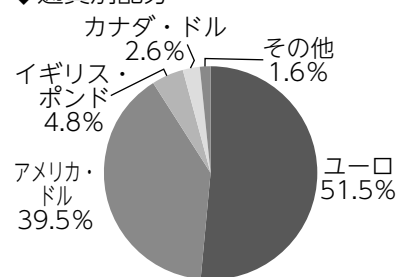
### ◆資産別配分



### ◆国別配分



### ◆通貨別配分



(注1) 基準価額の推移、1万口当たりの費用明細は組入ファンドの直近の計算期間のものであります。

(注2) 「1万口当たりの費用明細」期中の費用（消費税等のかかるものは消費税等を含む）は、追加・解約によって受益権口数に変動があるため、簡便法により算出した結果です。金額欄は項目ごとに円未満は四捨五入してあります。比率欄は「1万口当たりのそれぞれの費用金額」を期中の平均基準価額で除して100を乗じたものです。なお、項目の概要につきましては運用報告書（全体版）をご参照ください。

(注3) 組入上位銘柄、資産別配分・国別配分・通貨別配分のデータは組入ファンドの直近の決算日現在のものです。

(注4) 比率は純資産総額に対する評価額の割合です。

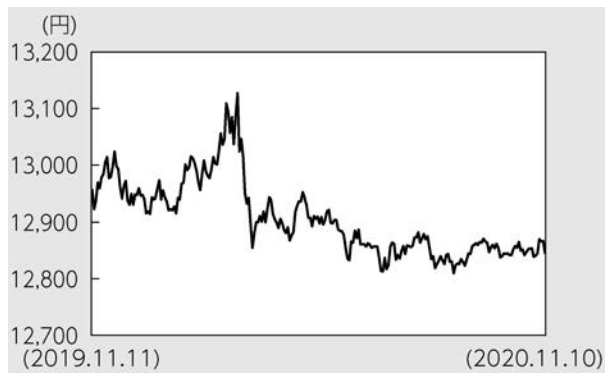
(注5) 国別配分につきましては発行国（地域）で表示しております。

(注6) 現金等はその他として表示しています。なお、その他は未払金等の発生によりマイナスになることがあります。

(注7) 計算期間中の運用経過や組入全銘柄に関する詳細な情報等については、運用報告書（全体版）に記載されています。

【新光日本債券インデックスマザーファンド】（計算期間 2019年11月12日～2020年11月10日）

◆基準価額の推移



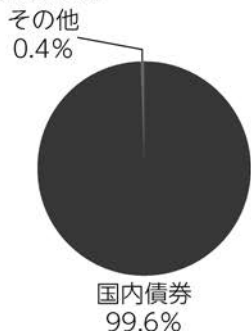
◆組入上位10銘柄

銘柄名	通貨	比率
97回 政保日本高速道路保有・債務返済機構	日本・円	1.4%
18回 東京都公募公債 20年	日本・円	1.3
36回 東日本旅客鉄道社債	日本・円	1.2
12回 兵庫県公募公債 15年	日本・円	1.2
49回 政保地方公共団体金融機構債券	日本・円	1.2
249回政保日本高速道路保有・債務返済機構	日本・円	1.2
58回 政保地方公共団体金融機構債券	日本・円	1.2
4回 第一三共社債	日本・円	1.2
104回 日本高速道路保有・債務返済機構	日本・円	1.2
24年度7回 広島県公募公債	日本・円	1.2
組入銘柄数	220銘柄	

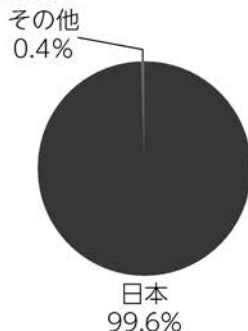
◆1万口当たりの費用明細

計算期間中に発生した費用はありません。

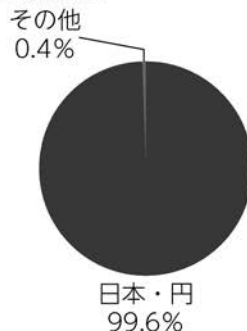
◆資産別配分



◆国別配分



◆通貨別配分



(注1) 基準価額の推移、1万口当たりの費用明細は組入ファンドの直近の計算期間のものです。

(注2) 「1万口当たりの費用明細」期中の費用（消費税等のかかるものは消費税等を含む）は、追加・解約によって受益権口数に変動があるため、簡便法により算出した結果です。金額欄は項目ごとに円未満は四捨五入してあります。比率欄は「1万口当たりのそれぞれの費用金額」を期中の平均基準価額で除して100を乗じたものです。なお、項目の概要につきましては運用報告書（全体版）をご参照ください。

(注3) 組入上位銘柄、資産別配分・国別配分・通貨別配分のデータは組入ファンドの直近の決算日現在のものです。

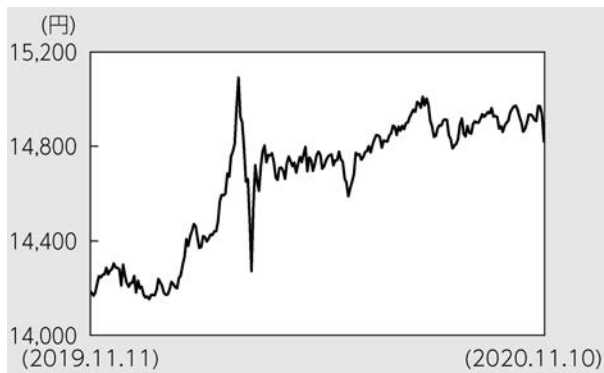
(注4) 比率は純資産総額に対する評価額の割合です。

(注5) 現金等はその他として表示しています。なお、その他は未払金等の発生によりマイナスになることがあります。

(注6) 計算期間中の運用経過や組入全銘柄に関する詳細な情報等については、運用報告書（全体版）に記載されています。

【新光外国債券インデックスマザーファンド（為替ヘッジあり）】（計算期間 2019年11月12日～2020年11月10日）

◆基準価額の推移



◆組入上位10銘柄

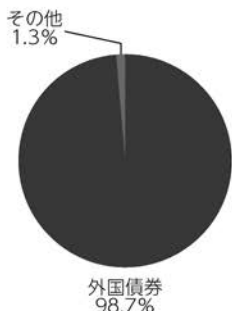
銘柄名	通貨	比率
US T N/B 2.25 11/15/24	アメリカ・ドル	1.4%
US T N/B 2.75 11/15/23	アメリカ・ドル	1.4
US T N/B 2.0 02/15/25	アメリカ・ドル	1.4
US T N/B 2.5 08/15/23	アメリカ・ドル	1.4
US T N/B 2.125 03/31/24	アメリカ・ドル	1.4
US T N/B 2.0 02/15/23	アメリカ・ドル	1.4
US T N/B 1.75 05/15/23	アメリカ・ドル	1.4
US T N/B 1.75 05/15/22	アメリカ・ドル	1.4
US T N/B 0.125 04/30/22	アメリカ・ドル	1.3
US T N/B 3.0 08/15/48	アメリカ・ドル	1.3
組入銘柄数	175銘柄	

◆1万口当たりの費用明細

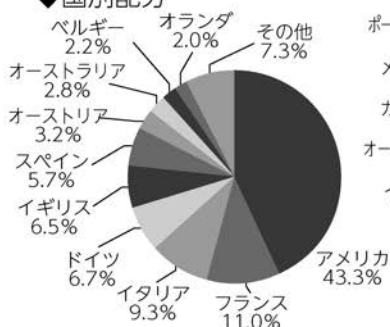
項目	当期	
	金額	比率
(a) その他費用 (保管費用) (その他)	82円 (81) ( 0)	0.557% (0.556) (0.001)
合計	82	0.557

期中の平均基準価額は14,665円です。

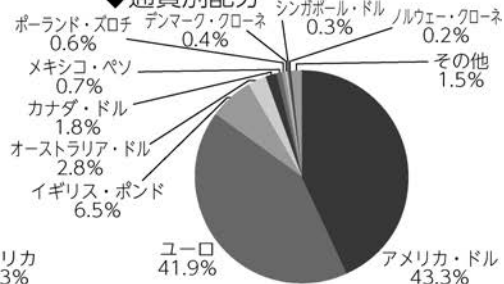
◆資産別配分



◆国別配分



◆通貨別配分



(注1) 基準価額の推移、1万口当たりの費用明細は組入ファンドの直近の計算期間のものであります。

(注2) 「1万口当たりの費用明細」期中の費用（消費税等のかかるものは消費税等を含む）は、追加・解約によって受益権口数に変動があるため、簡便法により算出した結果です。金額欄は項目ごとに円未満は四捨五入してあります。比率欄は「1万口当たりのそれぞれの費用金額」を期中の平均基準価額で除して100を乗じたものです。なお、項目の概要につきましては運用報告書（全体版）をご参照ください。

(注3) 組入上位銘柄、資産別配分・国別配分・通貨別配分のデータは組入ファンドの直近の決算日現在のものです。

(注4) 比率は純資産総額に対する評価額の割合です。

(注5) 国別配分につきましては発行国（地域）で表示しております。

(注6) 国別配分、通貨別配分については、上位11位以下をその他に含めて集計しています。

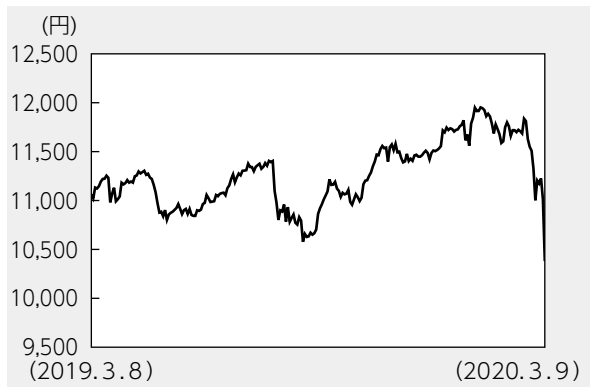
(注7) 外貨建資産については、原則として為替ヘッジを行います。

(注8) 現金等はその他として表示しています。なお、その他は未払金等の発生によりマイナスになることがあります。

(注9) 計算期間中の運用経過や組入全銘柄に関する詳細な情報等については、運用報告書（全体版）に記載されています。

【グローバル高金利通貨マザーファンド】（計算期間 2019年3月9日～2020年3月9日）

◆基準価額の推移



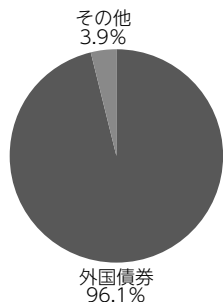
◆組入上位10銘柄

銘柄名	通貨	比率
IFC 8.25 01/30/23	ブラジル・レアル	9.6%
EIB 2.25 05/25/21	ポーランド・ズロチ	7.1
EIB 8.375 07/29/22	南アフリカ・ランド	7.1
EIB 4.75 01/19/21	メキシコ・ペソ	6.9
ASIAN DEV BANK 5.9 12/20/22	インド・ルピー	6.8
IFC 6.375 04/11/22	ロシア・ルーブル	6.4
EBRD 27.5 09/18/20	トルコ・リラ	4.2
EIB 9.0 03/31/21	南アフリカ・ランド	3.9
EIB 2.8 01/15/21	オーストラリア・ドル	3.6
ASIAN DEV BANK 7.0 03/14/22	ロシア・ルーブル	3.6
組入銘柄数	27銘柄	

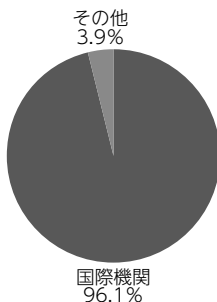
◆1万口当たりの費用明細

項目	当期	
	金額	比率
(a) その他費用 (保管費用) (その他)	2円 (2) (0)	0.015% (0.015) (0.000)
合計	2	0.015
期中の平均基準価額は11,262円です。		

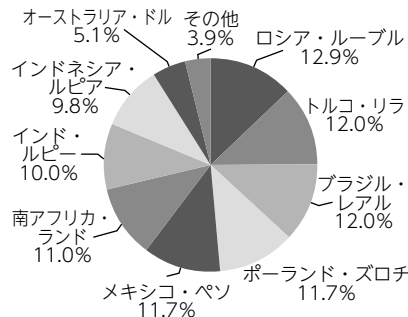
◆資産別配分



◆国別配分



◆通貨別配分



(注1) 基準価額の推移、1万口当たりの費用明細は組入ファンドの直近の計算期間のものであります。

(注2) 「1万口当たりの費用明細」期中の費用（消費税等のかかるものは消費税等を含む）は、追加・解約によって受益権口数に変動があるため、簡便法により算出した結果です。金額欄は項目ごとに円未満は四捨五入してあります。比率欄は「1万口当たりのそれぞれの費用金額」を期中の平均基準価額で除して100を乗じたものです。なお、項目の概要につきましては運用報告書（全体版）をご参照ください。

(注3) 組入上位銘柄、資産別配分・国別配分・通貨別配分のデータは組入ファンドの直近の決算日現在のものです。

(注4) 比率は純資産総額に対する評価額の割合です。

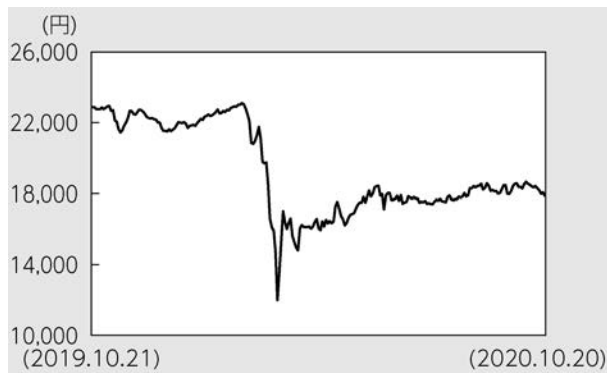
(注5) 国別配分につきましては発行国（地域）で表示しております。

(注6) 現金等はその他として表示しています。なお、その他は未払金等の発生によりマイナスになることがあります。

(注7) 計算期間中の運用経過や組入全銘柄に関する詳細な情報等については、運用報告書（全体版）に記載されています。

【新光J-REITマザーファンド】（計算期間 2019年10月22日～2020年10月20日）

◆基準価額の推移



◆組入上位10銘柄

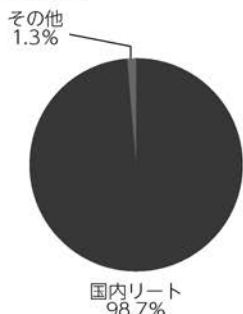
銘柄名	通貨	比率
ジャパンリアルエステイト投資法人	日本・円	5.8%
日本ビルファンド投資法人	日本・円	5.8
日本プロジスリート投資法人	日本・円	5.7
GLP投資法人	日本・円	5.1
野村不動産マスターファンド投資法人	日本・円	4.9
大和ハウスリート投資法人	日本・円	4.0
オリックス不動産投資法人	日本・円	3.4
日本リテールファンド投資法人	日本・円	3.4
アドバンス・レジデンス投資法人	日本・円	3.1
ユナイテッド・アーバン投資法人	日本・円	2.8
組入銘柄数	62銘柄	

◆1万口当たりの費用明細

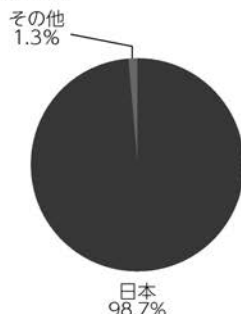
項目	当期	
	金額	比率
(a) 売買委託手数料 (投資証券)	0円 (0)	0.002% (0.002)
合計	0	0.002

期中の平均基準価額は19,225円です。

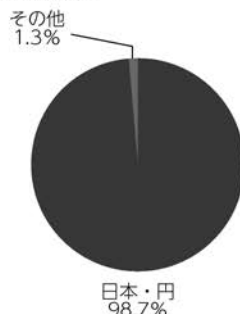
◆資産別配分



◆国別配分



◆通貨別配分



(注1) 基準価額の推移、1万口当たりの費用明細は組入ファンドの直近の計算期間のものであります。

(注2) 「1万口当たりの費用明細」期中の費用（消費税等のかかるものは消費税等を含む）は、追加・解約によって受益権口数に変動があるため、簡便法により算出した結果です。金額欄は項目ごとに円未満は四捨五入してあります。比率欄は「1万口当たりのそれぞれの費用金額」を期中の平均基準価額で除して100を乗じたものです。なお、項目の概要につきましては運用報告書（全体版）をご参照ください。

(注3) 組入上位銘柄、資産別配分・国別配分・通貨別配分のデータは組入ファンドの直近の決算日現在のものです。

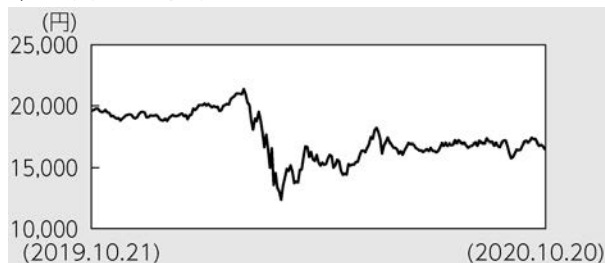
(注4) 比率は純資産総額に対する評価額の割合です。

(注5) 現金等はその他として表示しています。なお、その他は未払金等の発生によりマイナスになることがあります。

(注6) 計算期間中の運用経過や組入全銘柄に関する詳細な情報等については、運用報告書（全体版）に記載されています。

【新光米国REITマザーファンド】（計算期間 2019年10月22日～2020年10月20日）

◆基準価額の推移



◆組入上位10銘柄

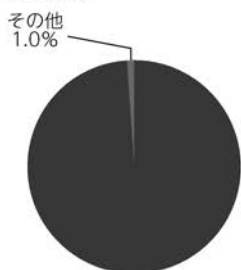
銘柄名	通貨	比率
AMERICAN TOWER CORP	アメリカ・ドル	9.8%
PROLOGIS INC	アメリカ・ドル	7.0
EQUINIX INC	アメリカ・ドル	6.6
CROWN CASTLE INTERNATIONAL CORP	アメリカ・ドル	6.3
DIGITAL REALTY TRUST INC	アメリカ・ドル	3.8
PUBLIC STORAGE	アメリカ・ドル	3.2
SBA COMMUNICATIONS CORP	アメリカ・ドル	3.2
WELLTOWER INC	アメリカ・ドル	2.0
WEYERHAEUSER CO	アメリカ・ドル	2.0
AVALONBAY COMMUNITIES INC	アメリカ・ドル	1.9
組入銘柄数	159銘柄	

◆1万口当たりの費用明細

項目	当期	
	金額	比率
(a) 売買委託手数料 (株式) (投資証券)	2円 ( 0 ) ( 2 )	0.010% ( 0.000 ) ( 0.010 )
(b) 有価証券取引税 (株式) (投資証券)	0 ( 0 ) ( 0 )	0.001 ( 0.000 ) ( 0.001 )
(c) その他費用 (保管費用) (その他)	73 ( 74 ) (△0)	0.420 ( 0.422 ) (△0.001)
合計	75	0.431

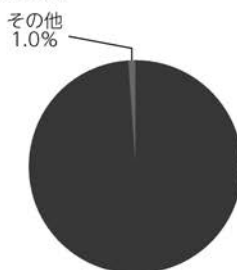
期中の平均基準価額は17,475円です。

◆資産別配分



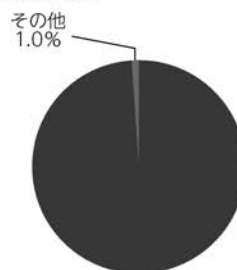
外国投資信託受益証券、投資証券  
99.0%

◆国別配分



アメリカ  
99.0%

◆通貨別配分



アメリカ・ドル  
99.0%

- (注1) 基準価額の推移、1万口当たりの費用明細は組入ファンドの直近の計算期間のもので、追加・解約によって受益権口数に変動があるため、簡便法により算出した結果です。金額欄は項目ごとに円未満は四捨五入してあります。比率欄は「1万口当たりのそれぞれの費用金額」を期中の平均基準価額で除して100を乗じたものです。なお、項目の概要につきましては運用報告書（全体版）をご参照ください。
- (注2) 「1万口当たりの費用明細」期中の費用（消費税等のかかるものは消費税等を含む）は、追加・解約によって受益権口数に変動があるため、簡便法により算出した結果です。金額欄は項目ごとに円未満は四捨五入してあります。比率欄は「1万口当たりのそれぞれの費用金額」を期中の平均基準価額で除して100を乗じたものです。なお、項目の概要につきましては運用報告書（全体版）をご参照ください。
- (注3) 組入上位銘柄、資産別配分・国別配分・通貨別配分のデータは組入ファンドの直近の決算日現在のものです。
- (注4) 比率は純資産総額に対する評価額の割合です。
- (注5) 国別配分につきましては、発行国（地域）で表示しております。
- (注6) 現金等はその他として表示しています。なお、その他は未払金等の発生によりマイナスになることがあります。
- (注7) 計算期間中の運用経過や組入全銘柄に関する詳細な情報等については、運用報告書（全体版）に記載されています。

## <代表的な資産クラスとの騰落率の比較に用いた指数について>

- 「東証株価指数（TOPIX）」は、東京証券取引所第一部に上場されているすべての株式の時価総額を指数化したものです。同指数は、株式会社東京証券取引所（㈱東京証券取引所）の知的財産であり、指数の算出、指数値の公表、利用など同指数に関するすべての権利は、㈱東京証券取引所が有しています。
- 「MSCIコクサイ・インデックス」は、MSCI Inc. が開発した株価指数で、日本を除く世界の主要先進国の株価指数を、各国の株式時価総額をベースに合成したものです。同指数に関する著作権、知的財産権その他一切の権利はMSCI Inc. に帰属します。また、MSCI Inc. は同指数の内容を変更する権利および公表を停止する権利を有しています。
- 「MSCIエマージング・マーケット・インデックス」は、MSCI Inc. が開発した株価指数で、新興国の株価指数を、各国の株式時価総額をベースに合成したものです。同指数に関する著作権、知的財産権その他一切の権利はMSCI Inc. に帰属します。また、MSCI Inc. は同指数の内容を変更する権利および公表を停止する権利を有しています。
- 「NOMURA-BPI国債」は、野村證券株式会社が国内で発行された公募利付国債の市場全体の動向を表すために開発した投資収益指数です。同指数の知的財産権その他一切の権利は野村證券株式会社に帰属します。なお、野村證券株式会社は、同指数の正確性、完全性、信頼性、有用性を保証するものではなく、ファンドの運用成果等に関して一切責任を負いません。
- 「FTSE世界国債インデックス（除く日本）」は、FTSE Fixed Income LLCにより運営され、日本を除く世界主要国の国債の総合収益率を各市場の時価総額で加重平均した債券インデックスです。同指数はFTSE Fixed Income LLCの知的財産であり、指数に関するすべての権利はFTSE Fixed Income LLCが有しています。
- 「JPモルガンGBI-EMグローバル・ディバーシファイド」は、J. P. モルガン・セキュリティーズ・エルエルシーが公表している新興国の現地通貨建ての国債で構成されている時価総額加重平均指数です。同指数に関する著作権等の知的財産その他一切の権利はJ. P. モルガン・セキュリティーズ・エルエルシーに帰属します。また、同社は同指数の内容を変更する権利および公表を停止する権利を有しています。

